

## 第3回月刊バスケットボールカップ大会に協賛

世界的人気スポーツ、バスケットボールでおもちをプロモーション！

全国餅工業協同組合では、2018(平成30)年8月19日(日)から21日(火)に、ALSOK ぐんま総合スポーツセンター(群馬県前橋市)で開催された「第3回月刊バスケットボールカップ大会」に協賛し、包装餅のプロモーション活動を行いました。世界中で最も競技人口が多いと言われるバスケットボールのプレーヤーたちに、おもちの有用性をPRしました。



現在、世界のスポーツ競技人口統計をみると1位がバスケットボールの約4億5千万人で、2位のサッカー(2億5千万人)を大きく引き離していると言われています。国内だけに目を転じて、男子中学生のクラブ活動の部員数ではサッカーと野球に続いてバスケットボールは第3位に上ります。(公益財団法人日本中学校体育連盟調べ)

人気スポーツとして今やメジャーとなったバスケットボールの選手たちに、おもちとスポーツの親和性や、おもちによるカーボローディングの有用性を伝え、日頃の栄養補給におもちを食べて頂けるようにPR活動を展開致しました。

大会「月刊バスケットボールカップ presented by げんき堂整骨院」は、スポーツ月刊誌「月刊バスケットボール」(日本文化出版社)が主催する競技会で、北は山形、南は沖縄から全64チーム約1,000人の中学生バスケットボールが集結して開催されました。特に今大会は、トップリーグ(男子28チーム、女子20チーム)に加えて、チャレンジリーグとして男女各8チームが参加し、参加者の裾野を広げたのが特徴です。

大会初日の8月19日、全国各地から多くの選手たちが会場の群馬総合スポーツセンターに続々と集まってきました。朝8時の開場とともにぐんまアリーナ入口ゲートへ流れ込んでいく彼らを「おもち大明神」が待ち受けていました。

今回、恒例のおもち大明神では、バスケット選手向けの特製おみくじを用意。人気バスケ漫画等にあやかって、選手たちを鼓舞する言葉が印字されたおみくじ文面に笑顔がこぼれます。みごと大吉を当てた人には切り餅セットをプレゼント、また外れてもスマートフォンや携帯電話で記念撮影をしてSNSにハッシュタグをつけて投稿してくれた方にも切り餅セットを贈呈させて頂きました。





プライバシー保護のため、一部加工処理をしています



また、各チームの代表者を集めた監督会議では、各チームにのべ1280人分の切り餅セット(手提げ袋入りの切り餅パック・餅カーボ漫画チラシ・リーフレット・ティッシュ)を配布させて頂きました。

今回、ブースへ立ち寄り頂いた保護者の方から、「試合前後は(選手の)食欲がなくて水分ばかり飲んでしまい困っている」という悩みをお聞きしました。バスケットは体育館で行う競技のためユニフォームはいつも汗でびしょり。休憩中も屋内で開放感もなくどうしても食が進まないとのことでした。そこで、おもちであれば緊張していても食べやすく、例えば大根おろし等と合わせて絡み餅にすれば消化吸収にも効果的なことをご紹介させて頂きました。

今後もおもちの有用性をわかりやすくご紹介し、スポーツ時の栄養補給源として役立てて頂ければと考えています。



全国餅工業協同組合では、このようなスポーツ協賛活動等を通して、包装餅がスポーツ時に効果的な食べ物であることを広めるとともに、ニッポンの若者の未来を全力で応援していきたいと考えています。

